

すぺりあ佐屋

—誰にでも快適なマンションをめざし—

《発行》平成26年(2014年)9月1日
《発行者》スぺリア佐屋管理組合理事長
ホームページアドレス

<http://www.superior-saya.com/>

<項目>

- 1、夏祭り
- 2、全国大会優勝
- 3、駐車場内の安全運転に関して
- 4、防災に関して

1、夏祭り

2014年度夏祭りに関しましては、台風11号の接近に伴い安全面を考慮して、集会室で規模を縮小して開催いたしました。

子供会の太鼓に始まり、ダンス・独唱・バンド演奏等皆さん一生懸命の演技で楽しい一時を過ごすことができました。雨の中、狭い集会室での開催でしたが皆様の協力が無事に開催できたことを感謝します。

尚、予約チケットの請求に関しては、今回のみ引き換えをしたチケットのみを請求します。8月24日開催のビンゴ大会（雨天により抽選会）分も含めて、計算し直し明細を近日中にお届けいたしますのでご確認ください。

尚、当初は10月度管理費等と一緒に請求する予定でしたが、11月度に請求しますので、ご了承下さい。



2、全国大会優勝

8月2、3日に大阪で開催された全国高等学校ダンスドリル選手権全国大会ヒップホップ部門・プロップ部門で 号室 さん（ 高校 年）が優勝しました。おめでとうございます。

3、駐車場内での安全運転に関して

駐車場内の車の運転スピードは徐行運転と決められていますが、中にはスピードを出して運転する車を多々見かけます。

子どもが車に接触しそうになった。対向車と接触しそうな危険な目にあつた等の苦情があります。 ヒヤリ・ハッと事故のもとです。

車の陰から子どもが飛び出さない保証はありません。

私は・自分が運転に自信があるから大丈夫ではなく、事故を起こしてからではおそいです。

駐車場内は安全運転に努め徐行を第一に曲がり角は安全を確認して走行して下さい。

皆さんご存知通り愛知県は交通事故の全国ワーストワンという不名誉な記録を長年続けています。交通事故は被害者のもとより加害者も大変悲惨なことになります。

駐車場内だけでなく一般公道でも安全運転に努め交通事故は絶対に起こさないで下さい。

4、防災に関して

最近の異常気象で各地で大きな水害が発生していることはご存じの通りで、今年は特に大きな被害がでています。8月に入ってからも16日には岐阜県高山市、京都府福知山市、20日には広島市で局地的な豪雨で大きな被害が出ています。以前は一時間当たりの雨量が100mmを越すような豪雨はなかったと思いますが、最近は各地で発生しています。当地区でもいつ集中豪雨・台風による被害が発生するかはわかりません。

集中豪雨・南海トラフ巨大地震等に関して國田様より貴重な意見を頂きましたので、その一部を紹介します。詳しくはホームページに順次記載していきますので見てください。

① 当地方は海拔ゼロメートル地帯のため集中豪雨や台風による被害が懸念され、万一、水が溜まればスリ鉢状態のため自然排水が難しいと思われれます。

伊勢湾台風時に比べると地盤沈下が進んでいること、宅地開発により降雨時には一時的な保水能力があった田畑が減少してしまったことで、災害が大きくなる懸念があります。

② 1976年頃より東海地震の発生が話題になり、30年ぐらい前からは、「明日おきても不思議ではない」と言われている間に、阪神・淡路大震災や東北地方太平洋沖地震が発生してしまいました。

現在は、南海トラフ巨大地震が懸念されていますが、地震発生の予知は難しいと考えられますが、いざという時のために備えておくことが大切なことと思われれます。

③ 原発が稼働され、万一、福島のような事故が発生した場合をかんがえると、スペリア佐屋から浜岡原発まで直距離は約130kmあり、風向き等考慮しても被害はないと思われれます。一方、福井原発からは直線距離で約83kmで、飲料水に用いる木曾川水系で最も近い笠松町付近で約70kmで風向きによっては河川への影響も考えられれます。

- ④ 巨大地震の津波の被害は東北地震で立証済ですが、海岸からどれくらい離れていたら安全かは誰も解りません。スペリアから鍋田沖までは約12kmはなれておりますが、東北地震での河川の遡上は、北上川では49kmという記録がありますが、被害を被ったわけではありません。地震の発生場所や河川も状況により異なるため、津波が木曾川へ遡上して何処まで流れ上がるかは定かではありません。
- ⑤ 2005年に「姉齒事件」が発生し、多くのマンションやビルが強度不足のため建て替えや補強工事が行われたことがありました。
スペリア佐屋も一級建築士に検査を依頼した結果、建物全体の計算は全て整合性があり、平均IS値は1.117と判断され現在の構造基準は1.0以上が必要で、基準を満たしていることが判明しています。
スペリア佐屋周辺は、1～2万年前は水が流れており、木曾川等の土砂が堆積して平野になった場所と言われており、地盤は決して良好とは言えません。
したがって、建物の基礎は直径0.9～2mのコンクリート柱長さ50m前後の深さに70本前後埋めて建物を支える施工となっています。

防災は「自助努力」で

- (1) 国を始め、県、地方の防災に関する情報や対策が発表されますが、発表のたびに倒壊家屋や死傷者が多くなっているようですが、それだけ地震だけでなく災害の予報が難しく、最終的には各自が判断し避難や対応することが肝心かもしれません。
- (2) 阪神・淡路大震災では家具が倒れ「圧死」や、点検を怠り送電をしたことで、「電気による火災」と「ガスが原因の火災」多かったです。
プロパンガスは震度5以上の地震が発生した場合は自動的にガスの供給が止まり配管の漏れテストを行います。
- (3) 災害発生時にはライフラインが停止する恐れがあり、水を保存しておくことが必要です。
スペリア佐屋では、自家発電用電源を起動させポンプで小型水槽に汲み上げて使える設備を用意していますが、万一の場合も考えておく必要があります。
一般的には「一人・一日3リットルを3日以上」の確保といわれています
- (4) 飲料水以上に必要なのは排泄物で、万一、断水した瞬間から排便にこまります。
管理組合としても簡易トイレを準備していますが、居住者全員の対応出来る設備ではありません。
阪神・淡路大震災で困ったことの、一つに排便と言われていました。
各自簡易トイレの準備も必要とおもわれます。
- (5) 多くの自治体では非常食料の備蓄は、住民の一食分程度と言われており、3日以上程度は各戸で準備しておく必要があります。
- (6) 避難については、大地震についても大きな台風やゲリラ豪雨で最も懸念されるのは浸水であり、一旦、浸水すると自然排水ではなくポンプを使って排水されるため、時間を要することでしょう。
当マンションでは1階の25戸以外はライフラインが止まっても避難所でなく、自宅で待機することが良いと思われれます。こうした場合は、避難所に登録している人達しか食料や水が支給されない恐れがあるため、市当局と事前に打ち合わせしておき、食料等の配分を受けられるようにしておくことが大切でしょう。
この場合、避難所からスペリアまでどのようにして運ぶかも検討しておく必要があると思います。今後の検討課題です。

まとめとして

防災「減災」対策として大まかに次のことが言えると思われます。

- ◎直下型大地震が発生しない限り、マンションが大きな被害を受けることは考えられず、津波で大きな被害を受けることはないでしょう。ただし、地盤が悪いために液状化することが想定されます。
- ◎伊勢湾台風当時より田畑等の保水能力がなくなり、地盤沈下が大きくなったことで、水害に対する備えが必要と考えます。
- ◎防災対策は「自助努力」が必要で、3～7日間が生活できる備えが必要です。
- ◎外出先で被害にあった場合は、出来るだけ新しいビル等へ避難し無理に帰宅しない。
- ◎新しい災害情報が発表されるたびに「想定」が拡大される傾向ですが、色々な情報を活用して「スペリアで」または「各住戸で」災害を想定し、対策をを考えることが大切と思われます

尚、「すぺりあ佐屋」165号 平成25年8月号、166号25年9月号その他何度か巨大地震に備えてを記載していますので参考にして下さい。

8月度理事会

日 時 8月17日(日) 午後8時～8時40分
出 席 ○ 委 任 △ 欠 席 ×

南 西 館			南 東 館			東 館		

8月度理事会 9月21日(日) 午後8時から